

障害科学研究

2012年3月30日発行

第36巻



原著

- 1 岡 典子・中村満紀男・吉井 涼：
日本の初期盲学校の創設理念とその達成状況に関する検討
—高田・福島・東海3校の比較—
- 19 宮内 久絵：1970年代イギリス視覚障害当事者組織ABAPSTASの
創設とインテグレーション要求の本質
- 33 中村満紀男・岡 典子：
新潟県内盲聾学校5校の経営困難問題と社会的基盤との関連
—大正12年勅令までの高田校と長岡校を中心に—
- 53 吉井 涼：20世紀転換期アメリカ合衆国公立学校における
学業・行動・健康問題に対する心理学者の関与
—L. ウィトマーによる最初期の心理クリニックを中心に—
- 69 上野 茜・野呂 文行：
自閉症障害児の母親に対するビデオフィードバックと
チェックリストを用いた介入の効果
- 81 牟田口辰己：点字読み熟達者の手の使い方に関する研究
—軌跡による検討—

資料

- 95 野口 晃菜・米田 宏樹：
米国における障害のある児童生徒への通常教育カリキュラムの修正範囲
—用語の整理と分類から—
- 107 金 珍 熙・園山 繁樹：
韓国における幼児特殊教育の現状と課題
- 121 金 恩河・四日市 章：
特別支援学校（聴覚障害）の英語指導における困難点と指導上の工夫
- 135 池田 彩乃・安藤 隆男：
個別の指導計画の作成及び活用に小学校の通常学級教師が
主体的に関わるための研究
- 145 深江 健司：読解学習場面における聴覚障害児の理解過程に関する研究
—教師の働きかけと児童の反応との関連を中心に—
- 159 丹野 傑史・安藤 隆男：
学習指導要領制定前の単独型肢体不自由養護学校における機能訓練
—教育課程の位置づけと教科指導との関連に着目して—
- 173 任 龍在・安藤 隆男：
重度・重複障害教育におけるベテラン教師の職能成長
—男性教師のキャリア・ヒストリーに着目して—

展望

- 187 田原 敬・原島 恒夫・小林 優子・堅田 明義：
難聴者の環境音認知に関する研究の展望



障害科学学会

Original Articles

- 1 Noriko OKA, Makio NAKAMURA and Ryo YOSHII
Aims of the Historic Schools for the Blind and their Actualization in Japan
— Takada, Fukushima, and Tokai Schools —
- 19 Hisae MIYAUCHI
The Establishment of ABAPSTAS and their Demand for Integration in 1970s England
- 33 Makio NAKAMURA and Noriko OKA
Financial Crises and Social Bases Among Five Schools for the Blind
and Deaf in Niigata Prefecture till Taisho 12 Imperial Decree
— Focusing on Takada and Nagaoka Schools —
- 53 Ryo YOSHII
Historical Study on the Role of Psychologists in the Problem of Deviant Children in the Turn of the 20th
Century America: Focusing on Lightner Witmer's Psychological Clinic
- 69 Akane UENO and Fumiyuki NORO
Effects of Video Feedback Combined with Checklist on Mothers' Appropriate Behavior
- 81 Tatsumi MUTAGUCHI
Hand Movements of Skilled Braille Readers
— Investigation of Braille Reading Trajectory —
- Brief Notes
- 95 Akina NOGUCHI and Hiroki YONEDA
General Curriculum Modification for Students with Disabilities in the United States
- 107 Jinhee KIM and Shigeki SONOYAMA
The Current Situation and Challenges of Early Childhood Special Education in Korea
- 121 Eunha KIM and Akira YOKKAICHI
Difficulties and Corrective Strategies of Teaching English at Schools for the Deaf
- 135 Ayano IKEDA and Takao ANDO
A Study on Designing Individualized Teaching Programs (ITP)
on the Initiative of Regular Class Teachers in Elementary schools.
- 145 Kenji FUKAE
Improvement of Text Comprehension by Teacher's Reading
Instruction to Children with Hearing Impairments
- 159 Takahito TANNO and Takao ANDO
A Study on Functional Training in Independent-Type Schools for the
Physically Handicapped before Formation of Course of Study
— Focusing on Position on the Curriculum and Connection with Subject Guidance —
- 173 Yongjae LIM and Takao ANDO
Professional Development of Veteran Teacher in Education of Children with Severe and Multiple
Disabilities
- The Literature Survey
- 187 Kei TABARU, Tsuneo HARASHIMA Yuko KOBAYASHI and Akiyoshi KATADA
The Literature Survey of Studies on Environmental Sound Recognition
by Individuals with Hearing Impairments

編集委員長	四日市 章 (筑波大学)		
編集委員	安藤 隆男 (筑波大学)	池田由紀江 (健康科学大学)	
	梅永 雄二 (宇都宮大学)	尾崎 久記 (茨城大学)	
	柿澤 敏文 (筑波大学)	蒲生 俊宏 (日本社会事業大学)	
	河内 清彦 (筑波大学)	齋藤 佐和 (目白大学)	
	園山 繁樹 (筑波大学)	鄭 仁豪 (筑波大学)	
	中村満紀男 (福山市立大学)	前川 久男 (筑波大学)	
審査委員	安藤 隆男 (筑波大学)	安藤 房治 (弘前大学)	
	池谷 尚剛 (岐阜大学)	池本喜代正 (宇都宮大学)	
	石原 保志 (筑波技術大学)	大内 進 (国立特別支援教育総合研究所)	
	岡 典子 (筑波大学)	岡崎 慎治 (筑波大学)	
	岡田英己子 (首都大学東京)	柿澤 敏文 (筑波大学)	
	加藤 靖佳 (筑波大学)	河合 康 (上越教育大学)	
	川間健之介 (筑波大学)	菅野 和恵 (筑波大学)	
	小林 秀之 (筑波大学)	佐島 毅 (筑波大学)	
	左藤 敦子 (筑波大学)	真城 知己 (千葉大学)	
	澤 隆史 (東京学芸大学)	須藤 正彦 (筑波技術大学)	
	園山 繁樹 (筑波大学)	高野 聡子 (聖徳大学)	
	趙 源逸 (京畿大学校)	鄭 仁豪 (筑波大学)	
	中川 辰雄 (横浜国立大学)	中村満紀男 (福山市立大学)	
	中山 哲志 (東京成徳大学)	長崎 勤 (筑波大学)	
	野口 幸弘 (西南学院大学)	原島 恒夫 (筑波大学)	
	東原 文子 (聖徳大学)	廣田 栄子 (筑波大学)	
	藤原 義博 (筑波大学)	前川 久男 (筑波大学)	
	村瀬 忍 (岐阜大学)	四日市 章 (筑波大学)	
	編集幹事	岡 典子 (筑波大学)	

障害科学研究

第 36 卷 (2012, Vol. 36)

平成 24 年 3 月 30 日 発行

編 集 障害科学学会 編集委員会

発 行 障害科学学会 会長 中村 満紀男

発行所 障害科学学会
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学人間系障害科学域内
FAX 029(853)6504
e-mail adsj@human.tsukuba.ac.jp

印刷所 前田印刷株式会社筑波支店
〒305-0033 茨城県つくば市山中152-4
電話 029(875)6696

投稿規定

1. 本誌は、障害科学学会の機関誌であり、年1巻発行する。なお巻号は前身の雑誌である「心身障害学研究所」を引き継ぐものとする。
2. 本誌の執筆者は障害科学学会会員に限る。
3. 本誌の編集は、障害科学学会編集委員会の責任のもとに行われる。
4. 本誌には未公開の和文または英文で書かれた障害科学に関する「原著論文」、「短報」、「資料」、「実践報告」、「展望」のほか、編集委員会が認めた論文等を掲載する。このうち、「原著論文」は、理論的、実験的または事例的な研究論文で、オリジナルなものとする。「短報」はそのようなオリジナルな研究の途中経過や一次的な報告を指す。これに対し、「資料」は、調査、統計に関するもの、歴史的に価値ある文献資料の紹介、方法論的試論、新しい実験装置の紹介、内外諸研究の追試検討したものとする。また、「実践報告」は実践報告会、事例検討会等でモデルとなりうる報告、「展望」は障害科学に関係のある課題について、内外の諸研究の成果を総合的に概観・展望したものとする。
5. 論文は、査読委員によって審査され、編集委員会において、その掲載の可否が決定される。
6. 規定枚数を超過したもの、および図表、写真等の製版・印刷等、特に費用を要するものは、別途執筆者の負担とする。
7. 別刷りは執筆者の負担とする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は障害科学学会に帰属し、無断で複製あるいは転載することを禁ずる。
9. 投稿論文の内容について、十分に人権および倫理上の配慮がなされていなければならない。

執筆規定

1. 原稿の仕様 原則としてワープロを用い、A4判用紙に25字×32行（800字）で印字された原稿を提出すること。A4判用紙の原稿2.5枚は刷り上がり1頁に相当する。和文では、本文、文献、図表、要約をすべて含めた論文の刷り上がり頁数は、原著論文、資料、実践報告、展望は10頁を上限とする。英文では、本誌8頁（approximately 550 words per page; including Abstract, References, Tables, and Figures）を上限とする。また、短報は和文で5頁、英文で4頁とする。これを超過する論文については、編集委員会で掲載の可否を決定する。
2. 提出原稿 原著論文・資料ともに、オリジナル1部とコピー2部を添えて提出すること。また提出原稿はA4判とし、表紙には和文表題、英文表題、執筆者名、代表者の連絡先（電話番号を含む）を明記すること。なお、論文採択後には電子ファイルを提出する。
3. 図表など 白紙に黒色インクで明瞭に書かれたものを用い、写真を用いる場合は鮮明なものを提出すること。表や図の番号はTable 1, Fig. 1のように記入し、表題、説明ともに一括して別紙に記載すること。また、本文中にその挿入箇所を明示すること。
4. 和文要約 和文論文および英文論文には、問題、方法、結果、結論の概要をほぼ把握できるように、和文で400字以内の要約と3～5項目の和文キーワードを本文とは別葉にて提出すること。
5. 英文要約 和文論文および英文論文には、英文表題、200～300ワードの英文要約、3～5項目の英文Key Wordsを本文とは別葉にて提出すること。
6. 表記 新かなづかい、常用漢字、算用数字を用いること。外国人名・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要な場合は初出の際にだけ原語を付す。文献は論文の最後にアルファベット順に一括して示すこと。雑誌文献記述の形式は、著者名、発行年、題目、雑誌名、巻数、論文所在頁の順とし、単行本文献記述の形式は、著者名、発行年、書名、出版社、出版地の順とする。
7. 註 必要がある場合は、本文中に1), 2) …のように上付きの通し番号で註を付し、すべての註を本文と文献欄の間に番号順に記載すること。
8. 印刷形式 印刷の体裁は編集委員会に一任する。
9. その他 執筆に関する詳細は、日本特殊教育学会の『「特殊教育学研究」和文論文執筆の手引き』と、最新の特殊教育学研究英文特集号の表紙裏Information for Contributorsに従うこと。